

2年 国語

かんさつ名人になろう  
～かんさつしたことを書く～

### 1. 学習目標

かんさつしたことをきろくする文しょうを書こう。

### 2. 指導の流れ（第5時／全10時）

教師の動き	指導のポイントなど
1. めあての確認『観察したことを記録する文章を書こう。』	・ループリックは下記。
2. 指示「教科書 P.55,56 を見て、観察記録文に書く内容を確認しよう。」	・メモと記録文を比べながら読み、記録文にメモの内容が書かれていることを気づかせる。 ・作例を黒板に掲示し、書くポイントを短冊にしたものを貼る。
3. 指示「自分の観察メモに印をつけたことをもとにして、観察記録文を書きましょう。」	・記録文を書くことが難しい児童には、「○○の形は～」「○○をさわってみると～」など、文の書き出しを提示して書かせるようにする。
4. 指示「記録文に合うように、絵も丁寧に描きましょう。」	・観察記録文の内容と合う絵を描かせる。 ・書き終えた児童には、読み返して、読む人に伝わる文になっているか確かめさせる。
5. 本時の振り返り	

### 3. ルーブリック評価

	書く（思考）
つけたい力	丁寧に観察し、くわしく記録観察文を書いている。
レベル A	レベルBの観点に加えて、前と観察したときと比べてどうか変わったかを書いている。
レベル B	<ul style="list-style-type: none"><li>・日付、曜日、天気を書いている。</li><li>・「花は～」「くきは～」など、何のことがわかるように書いている。</li></ul> 以下のポイントから一つは選んで書いている。 <ul style="list-style-type: none"><li>・大きさ・色・形を書いている。</li><li>・さわってどんな感じかを書いている。</li><li>・数を数えて書いている。</li><li>・においをかいで書いている。</li></ul>

### 3. 児童の成果物

すこしだけ毛がはえていました。さわったら、ザラザラしていました。ちょっとだけ、ちゃ色と白のはっぱがありました。色は、くきがこいみどりで、はっぱがふつうのみどり色でした。

ミニトマトは、みどり色のみばかりでした。はっぱは、先が黄色いろばかりでした。トマトがいっぱいできて、うれしかったです。はやくなってほしいです。あまいみになってほしいです。赤くなって、食べられるようになってほしいです。